

みたに
三谷地区活性化計画（石川県金沢市）

【取組概要】

- 事業期間：H26～30年度
- 事業実施主体：金沢市
- 事業費：約2.5億円（うち国費1/2）
- 事業内容：交流施設、芝生広場、市民農園



施設HP



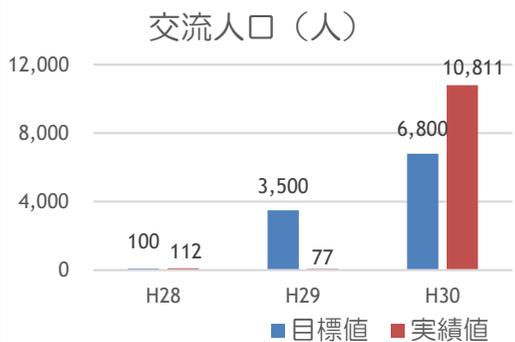
施設外観

取組のきっかけ

中山間地域にあたる三谷地区では、人口減少が進み、地区内の小学校が廃校となって以降、地域コミュニティの希薄化及び少子高齢化が一層進み、地域の基幹産業である農林業の衰退と地域活力の低下が課題となったことから、地域活性化施策の模索が始まった。

旧小学校跡地として愛着のある集落内の住民の意見をしっかりと汲み取るため、ワークショップ形式で協議を重ねた。

市民農園の規模は集落内で管理可能な区画数とし、市の取組であった森林を活用した体験活動等と連携する構想も取り入れた。地域の特性である見晴らしの良い静ひつな環境の保全のため、「三谷里山の会」を設立し、管理委託する方法をとった。



H30年から移住した地域おこし協力隊と連携し、さとやま広場のヨガ教室利用など幅広い用途で施設が活用されている。夏祭り、朝市、木工教室、ジビエふるまい等各種イベントが開催され、地域の一体感、集客につながった。

きゅうひがしせふり
旧東脊振地域活性化計画（佐賀県吉野ヶ里町）

【取組概要】

- 事業期間：H30年度～R2年度
- 事業実施主体：吉野ヶ里町
- 事業費：約1.2億円（うち国費1/2）
- 事業内容：農産物加工体験施設



施設情報



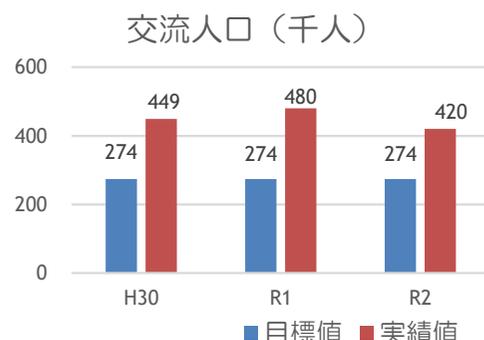
施設外観

取組のきっかけ

人口減少による農林業の公益的機能の低下、伝統文化・地域コミュニティの存続といった課題を抱えていたため、地区の恵まれた自然資源、歴史・文化資源、都市圏から良好な交通網による交流基盤を活かした解決策を模索した。

着手する3年前から地元説明会を重ね、地元意向を反映した計画を固めていきつつ、地元からの雇用者や地域おこし協力隊といった人材を確保し、地域特産物（タケノコ、大豆、そば等）を用いて加工から飲食までを体験できる交流プログラムを準備。

併行して町の事業でイノシシの処理加工施設等を整備し、ジビエ料理教室も企画するなど、体験コンテンツの充実を図った。



交流人口の増加目標達成のみならず、施設の周辺管理、体験活動の講師等で地元住民の雇用や生きがいにつながり、地域の魅力が伝承されている。

